

多層型スフェロイドを利用したボトムアップ式高機能肝組織の構築とその肝再生医療への応用

奥平, 達也

<https://doi.org/10.15017/1806993>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	奥平 達也			
論 文 名	多層型スフェロイドを利用したボトムアップ式 高機能肝組織の構築とその肝再生医療への応用			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	梶原 稔尚
	副 査	九州大学	教授	上平 正道
	副 査	九州大学	教授	井嶋 博之
	副 査	九州大学	准教授	水本 博

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、高細胞密度と高機能発現を両立する培養組織構築の基盤技術として、多層型スフェロイドを利用したボトムアッププロセスによる高機能肝組織の構築に成功するとともに、構築された培養肝組織の有用性を明らかにしたもので、物質プロセス工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。